

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録
第1回 「橋本清春氏の回想録」 執筆の動機

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録

第1回 「橋本清春氏の回想録」 執筆の動機

齢（よわい）91歳の橋本清春、大先輩、「生けるレジェンド」の物語を、
連載で皆様にお伝えします。



大体、以下のような枠組みで書きます。

- 第1回 「橋本清春氏の回想録」 執筆の動機
- 第2回 徴用から満州国境警備
- 第3回 ソ連宣戦布告と終戦
- 第4回 終戦からシベリア抑留
- 第5回 帰国してから国鉄労働会館工事まで
- 第6回 霞ヶ関ビルとアークヒルズ建設から退職まで
- 第7回 アークヒルズ建設、特集
- 第8回 江工会関東支部の設立に関して
- 第9回 戦争体験者の思い、次世代に伝えたいこと

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録
第1回 「橋本清春氏の回想録」 執筆の動機

「橋本清春」氏の回想録執筆の動機

この回想録をまとめようと思いついたのは、橋本先輩の偉大な業績を鑑みて、お歳を召されているので貴重な情報が散逸しない内に、様々な体験談や秘話などを交えながら業績を記録し、江工会、

特に関東支部の次世代を担う若者のために残しておくべきである、

と感じたからです。

これは昭和37年建築科卒の森岡薫氏と、同じく昭和37年機械科卒の森山征夫（当ブログ筆者）が、橋本先輩へのアプローチおよび資料収集、執筆を共同で開始したことから始まりました。

橋本先輩の履歴など、一連の質問をあらかじめ行い、記録保存を広範囲で行うことに主眼を置きました。

橋本清春先輩の略歴は以下の通りです。

なお、以下の略歴やその他の資料は、橋本先輩の直筆を直接引用しました。また、フリガナなどは、編集者の加筆です。

履歴：

1924年（大正13年）島根県生まれ。

1941年（昭和16年）島根県立江津工芸学校
（現、島根県立江津工業高等学校）建築科卒業。

卒業後、鹿島組（現、鹿島建設株式会社）に入社、すぐに技術徴用を受け支那（満州）で終戦を迎えた。

偉大なる先輩 — 橋本清春氏の回想録
第1回 「橋本清春氏の回想録」 執筆の動機

その終戦時からソ連に抑留され極限状態の苦勞をなめたが、
3年後に内地（日本）に帰還した。

1948年（昭和23年）鹿島建設㈱に復職した。

数々の建築工事に従事（詳細は第5回から7回を参照）。

1986年（昭和61年）鹿島建設㈱を退職。

鹿島道路㈱に入社して取締役建築工事部長兼営業部長として
全支社を担当。

1996年（平成8年）鹿島道路㈱を退職。

退職後は趣味の版画、水墨画等のサークル活動で過ごし、
健康維持に努めて現在に至る。

以上が橋本先輩の略歴からの引用です。

つづく。